

雅乃郷新聞

第 149 号
令和 7 年
5 月吉日発行

5 月新聞担当者挨拶

日中と夜間の気温差が大きいですが天気の良い日も多く、
新しい趣味や楽しみが出来ると思います。
施設の利用者様は皆様、お元気に楽しく過ごされています。
皆様におかれましては、お元気にお過ごし下さい。

佐藤 靖也

明日香たかとり保育園交流会



風船バレーや
借り物競争を
しました 🎈



ハイタッチ
でお別れ 🤝

緊張したなあ 😬



園児さんが
「さんぽ」を
歌ってくれました 🎵



えんどう豆



みんなで
皮むきして ❤️



島川さんが
作ってくれ
たものを 🎵



米田栄養士が
おいしく
煮てくれました ★

野球観戦 オリックス対ソフトバンク

オリックスの応援や 📣

球場が一体と
なって綺麗や 💡

米田様コラム

皆さま、いつも僕の1コーナーをご覧頂きまして、ありがとうございます。

さて、今月の内容は僕の父方の祖父について書かせて頂きたいと思います。

今月の下旬に、祖父は旅立ちました。

僕は4歳から15歳まで、奈良市にある「東大寺整肢園」という障害児入所施設で過ごしていました。毎週土日は自宅へ帰省できるというルールがあり、普段は父親か母親のどちらかが迎えに来てくれるのですが、たまに祖父が高取町から奈良市まで1時間以上かけて迎えに来てくれました。

当時、祖父は70代です。今考えると凄いですし、「ありがたかったなあ」と思います。

また、家族で外食へ行くと「雄ちゃん食べさしたろ」と言って食べさせてくれるのですが、父親や母親とは口に入れてくれるタイミングが異なるので戸惑うこともありました(笑) 祖父は、この雅乃郷にも度々来てくれて、僕が好きなチョコ菓子を持って来てくれたり、時には僕の足をさすったりマッサージもしてくれました。

それから、手紙を書いて来てくれることもありました。

また、祖父は仕事熱心で、寝ている時も仕事について何か話していることもありました。

祖父は、輝きをいつまでも放ち続けて仕事に情熱を持って臨んでいたに違いありません。

仕事の程度や内容が祖父とは全く異なりますが、

僕も田原本の作業所で少しでも祖父に近づけるように頑張ります。

そして、これからも僕は大好きな祖父への感謝の気持ちが尽きることはありません。

米田雄一朗

石井農園さん

ようこそ ✨

苺ソースが
ある 🍓

ありがとうご
ざいました
🍷

石井農園さん
にご招待され
ました !

和
田
支援員です。
6月の新聞担当は、

タ
オル
靴
下
どん
ぶり
9
0
0
円
5
1
2
0
円
3
3
2
0
円

6月の内職工賃

毎週火曜日 口腔ケア
第1・2火曜日 音楽教室
19日 フットケア
18日 散髪(男性)
13・27日 往診
12日 料理教室
7日 ジャガイモ掘り

6月の予定